



# 日本共産党 市議会報告



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

2014年11月17日第 1308号  
【発行】  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控え室(議会棟1階)  
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心  
住み続けたい浦安を

## 難聴者 支援

# 成人・高齢者の健康診査に 「聴力検査」を

高齢者の難聴は動脈硬化や

## 動脈硬化や 糖尿病との関係が

この数字を浦安市に当てはめて単純に推計すれば、9月1日現在の65歳以上の人口は24568名、難聴者は約1万人近い人数となります。

日本医師会では65歳以上の40%が老化による難聴であるとするデータを公表しています。

WHOの算定では難聴者の人口は600万人にも及ぶとされ、70歳以上のおよそ半数は加齢性の難聴と推計されています。

## 浦安市

## 約一万人が 加齢性難聴か？

日本共産党は9月議会一般質問で、難聴者支援を取り上げ、従来の障害者問題としてではなく高齢者問題としてとらえて、施策を充実させるよう求めました。

## 聴力検査の 機会が少ない！

糖尿病との関係があり、これらの患者が難聴につながりやすいことが、医療関係者によつて説明されつつあります。



加齢に伴う聴力の低下はゆっくり進行し、視力の低下と比べて自覚しにくいいため、聴力が落ちていくことに気づくことが遅れがちです。聴力検査を受ける機会が少ないことも気づきにくい原因です。

平成20年から健診制度が大幅に変わり「特定健診制度」が導入され、それまでの「ふしめ健診」では聴力検査もありましたが、聴力検査が検査項目に含まれていません。

日本共産党は、市独自の制度として、「聴力検査」を検査項目に追加するよう求めるとともに、後期高齢者医療制度

## 消費税増税 先送りではなく中止を

日本共産党 衆議院比例代表  
南関東ブロック予定候補



元参議院議員  
畑野君枝



衆議院議員  
党委員長  
志位和夫

健康福祉部長は、現在の制度が生活習慣病予防の観点から行われているとして「新たに検査項目に追加することは現在のところ、考えていない」と答え、国への働きかけも「積極的な働きかけについては考えていない」と答え、消極的答弁をくりかえしました。

「検査項目に追加することは考えていない」

の検査項目に入れるよう、国への働きかけも求めました。

# 「耳マークを配置するなど何か考えていきたい」

## 健康福祉部長

### 磁気ループ設置の公共施設

市の公共施設には次の3施設に「磁気ループ」など集団補聴設備が整備されています。

騒音のある場所や大勢の人の集まる場所では、補聴器で音声を正確に聞き取ることが困難になります。この設備が整っていない施設では、Tコイルのある補聴器の場合、スイッチの切り替えで鮮明に音を聞き取ることができません。また、専用受信機が備えられている施設では、専用受信機を使うことで「耳元で話されているように聞こえる」ことができます。

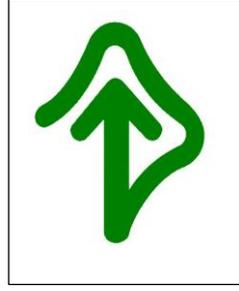
<b>文化会館</b>
大ホール・小ホール
<b>Uセンター</b>
講座室・大広間・多目的ホール
<b>高洲公民館</b>
大集会室

### せっかくの設備が活用されていない！

ところが、せっかくの設備が活用されていない実態があり、日本共産党はこれまで繰り返し、どの程度活用されているのか実態把握とともに、配備を周知するよう求めてきました。

日本共産党の質問に答えて「全体的な利用の把握は困難であるが、専用受信機の貸し出し状況から、Uセンターのみで活用されている状況となっている」ことを明らかにしました。

### 十分なお知らせを



耳マーク

日本共産党は「日本は欧米に比べて磁気ループの普及が大きく遅れている、磁気ループが知られてい

ないため、せっかく設置されても利用がされていない」と指摘し、設置を示すわかりやすい「マーク」の表示を求めました。

健康福祉部長は「各施設に確認したところ、ホールの入り口などにたえず表示している、事業ごとに入り口に表示するなど表示されている」と答え、いっぼう「しかし文字表示での案内になっていることから、何らかの耳マークですとか、わかりやすい表示が必要」との考えを示し「何か考えていきたい」と周知方法の改善を約束しました。

### 新庁舎

### 市議会本会議場のみ

今、市は新庁舎を建設中です。

日本共産党は新庁舎内に十分な集団補聴設備を設置するよう求めました。

総務部参事は「市議会本会議場の傍聴席に磁気ループを設置予定である」とこたえましたが「その他は予定していない」と答えました。

### 市は本格的な支援を

日本共産党は8月、難聴者支援に先進的に取り組んでいる台東区を視察しました。

同区では高齢者福祉や障害者福祉の相談窓口パネル型や骨伝導型スピーカーなどを配備しています。また、福祉課には貸し出し用の携帯磁気ループが配備されています。これは集会所で会議をおこなう場合、事前の予約で貸し出しする制度です。

日本共産党は台東区の視察などもふまえて、浦安市が本格的に難聴者支援に踏み切るよう求めました。

健康福祉部長は「台東区の事例も調べてみたい、利用者が希望する方法で情報保障ができるような支援体制を整備していきたい」と答えました。